

様々な文化の共生を目指して
 最近、お店で外国の方が働いているのをよく見かけます。そんな中、人との間で「トラブ」ルがあつたというニュースも見かけます。
 ところで、皆さんは異国へ足を踏み入れたところ、リ文化を体験したことはありませんか。僕は三歳の時にタイへ引越すことになりました。
 タイは東南アジア中央部に位置します。人口は約六千六百万人で、日本人は世界第五位の約八万人が暮らしています。僕が印象に残ったのは、タイ人みんなが優しいところです。
 微笑みの国とも呼ばれます。電車の席を譲ってくれたり親の職場に行っても優しく声を掛けてくれたり遊んでくれました。
 僕が通っていた学校は多国籍の人が集まり英語で授業をする学校でした。様々な活動を通して学校ではたがいの文化を理解し合い、仲良くやっていました。欧米諸国、オーストラリア、アジアなどの子供が集まり、もちろん

人日本から来た人も同じ学校に通っていまし
 た。クラブ活動も盛んに行われていて、僕は
 水泳を主に、サッカーや体操などの様々な活
 動に励みました。一つの活動ではなく、複数
 の活動をしていたのが文化の違いでした。毎
 日の帰りは、クラブに行ったり、学校や家で
 友達と遊ぶのが日常でした。コロナ禍で最後
 の授業がビデオ通話だったのが残念でしたか
 ー海外の学校に通って、様々な国の人や文
 化と触れたことが僕の一番の財産だったし、楽
 しかかったです。

小学四年生の夏に日本へ帰ってきました。
 小学校へ転入したとき、クラスメイトや全校
 のみんなが、海外から来たばかりで、まとも
 に日本で暮らしたことがない。僕を温かく受
 け入れてくれて嬉しかったです。放送で自己
 紹介をしたときは緊張したけれど、気持ちか
 高ぶっていました。僕は楽しそうに練習をし
 て、いるのをみて、野球チームに参加しました。
 タイで活動するときは違っていて、一つを極める

日本の活動には驚きました。中学校に入学し
ても、好きな野球は続けました。他の中学校
と合同で活動をし、いろんな選手と一緒にフ
ットボールができていることに感謝してい
ます。活動、勉強に励み、様々なことに挑
戦し、実した日々を過ごしています。
タイでの生活を終えて、とても心豊かに生
活をすることができました。学校の授業や研
究を通していろいろな知識が付けました。
でも、日本は自分の母国としてさびしいとき
もありました。日本人は規律や調和を重視す
る人が多いけれど、タイ人は心に余裕を持
っています。のんびりと生きている人が多
いと思います。す。優しい人もたくさんい
るので、電車に乗っていて見知らぬ人と
会話することもありました。僕は今回みな
さんに伝えたいことは、是非たくさん
の経験をしに海外へ行ってみてくださ
い。というところよりも、いろいろな
人が集まる中、おたがいを認め合っ
たりス

ペクトして生活していきましよう。というこ
とです。みなさんも知っている通り、日本に
はたくさんの方の外国の方が暮らしています。そ
れぞれが違う文化、国からやってきています。
日本には当然日本人が多く暮らしています。
日本にきた外国の方を特別扱いする必要はな
いと思います。特別扱いをすることでは、過
度な優遇、というものが生じてしまい、逆に
トラブルなどの問題が起きてしまうと思いま
す。同じ日本で暮らしている人として、接
していくべきだと思います。優しい日本語を
使ってみたり、一緒に地域の祭りや行事に参
加してみたりとできることはたくさんあると
思います。日本には、約四百万人の外国人が
暮らしています。同じ場所で暮らしている
人として外国の方と接していけば、外国人
との生活トラブルの問題はなくなっていくと
思います。

私たちが共生社会を実現していきません
か。